

<H22-No1 : 法規・条約 : 問題>

次の a～e の文は、測量法(昭和 24 年法律第 188 号)の一部を抜粋したものである。 ア ～ オ に入る語句の組合せとして最も適当なものはどれか。次の中から選べ。

- a. 「公共測量」とは、基本測量以外の測量で次に掲げるものをいい、 ア その他の局地的測量又は小縮尺図の調製その他の高度の精度を必要としない測量で政令で定めるものを除く。
- 一 その実施に要する費用の全部又は一部を国又は公共団体が負担し、又は補助して実施する測量
 - 二 (略)
- b. 基本測量の永久標識又は一時標識の汚損その他その効用を害するおそれがある行為を当該永久標識若しくは一時標識の敷地又はその付近でしようとする者は、理由を記載した書面をもって、国土地理院の長に当該永久標識又は一時標識の イ を請求することができる。
- c. 公共測量を実施する者は、 ウ に対して当該測量を実施するために必要な情報の提供を求めることができる。
- d. (測量法第 6 条に規定する)基本測量及び公共測量以外の測量を実施しようとする者は、あらかじめ、国土交通省令で定めるところにより、その旨を エ に届け出なければならない。
- e. オ は、いかなる方法をもってするかを問わず、その請け負った測量を一括して他人に請け負わせ、又は他の オ から当該他の オ の請け負った測量を一括して請け負ってはならない。

	ア	イ	ウ	エ	オ
1.	建物に関する測量	撤去	関係市町村長	国土地理院の長	測量士
2.	地積に関する測量	移転	関係市町村長	国土交通大臣	測量士
3.	建物に関する測量	移転	関係市町村長	国土交通大臣	測量業者
4.	地積に関する測量	移転	測量計画機関	国土地理院の長	測量士
5.	建物に関する測量	撤去	測量計画機関	国土交通大臣	測量業者

<H22-No2 : 法規・条約 : 問題>

我が国においては、測量法(昭和 24 年法律第 188 号)の改正に伴い、平成 14 年から地理学的経緯度は、世界測地系に従って測定しなければならないとされている。国土地理院は、世界測地系の導入に当たり、地球の基準座標系に係る国際機関が構築した ITRF 系(International Terrestrial Reference Frame : 国際地球基準座標系)を採用している。

次の a～e の文は、ITRF 系について述べたものである。明らかに間違っているものだけの組合せはどれか。次の中から選べ。

- a. ITRF 系は、GPS を含む複数の宇宙測地技術により構築されている。
- b. ITRF 系は、地球の重心を原点とした三次元直交座標系である。
- c. ITRF 系の X 軸は、地球の自転軸と一致している。
- d. 我が国の現在の測地成果は、経度、緯度及び標高で表示し、ITRF 系で表示する場合は、X、Y、Z で表示する。
- e. 我が国の現在の測地成果は、ITRF 系が更新されると連動して変更される。

- 1. a, c
- 2. a, d
- 3. b, d
- 4. b, e
- 5. c, e

<H22-No3 : 法規・条約 : 問題>

次の文は、測量作業機関が、公共測量を行う場合に留意しなければならないことを述べたものである。明らかに間違っているものはどれか。次の中から選べ。

1. 測量作業機関は、測量作業着手前に、測量作業の方法、使用する主要な機器、要員、日程などについて適切な作業計画を立案し、これを測量計画機関に提出して、その承認を得る。作業計画を変更しようとするときも同様とする。
2. 測量作業機関は、測量作業を円滑かつ確実に実行するため、適切な実施体制を整えなければならない。そのため、作業計画の立案、工程管理及び測量成果の検定を実施する者として、監理技術者を選任する。
3. 測量作業機関は、作業計画に基づき、適切な工程管理を行い、測量作業の進捗状況を適宜測量計画機関に報告する。
4. 測量作業機関は、作業実施に当たり、測量法及び関係法令を遵守し、かつ、これらに関する社会的慣行を尊重する。
5. 測量作業機関は、作業が終了したときは、原則として製品仕様書などであらかじめ測量計機関が定める様式に従って測量成果などを電磁的記録媒体に格納し、遅滞なく測量計画機関に提出する。

<H22-No4 : 法規・条約 : 問題>

次の文は、測量法(昭和 24 年法律第 188 号)その他の法令に基づき我が国で用いられる測量の基準について述べたものである。明らかに間違っているものはどれか。次の中から選べ。

1. 世界測地系とは、地球を、規定された要件を満たした偏平な回転楕円体であると想定して行う、地理学的経緯度の測定に関する測量の基準をいう。
2. 世界測地系で想定した回転楕円体は、その中心が地球の重心と一致するものである。
3. 位置は、地理学的経緯度及び規定された回転楕円体の表面からの高さで表示する。
4. 距離及び面積は、規定された回転楕円体の表面上の値で表示する。
5. 世界測地系では、回転楕円体は GRS 80 楕円体を使用し、座標系は ITRF 94 系を採用している。